

# たのしくたべようニュース

## はしを上手に使っていますか？

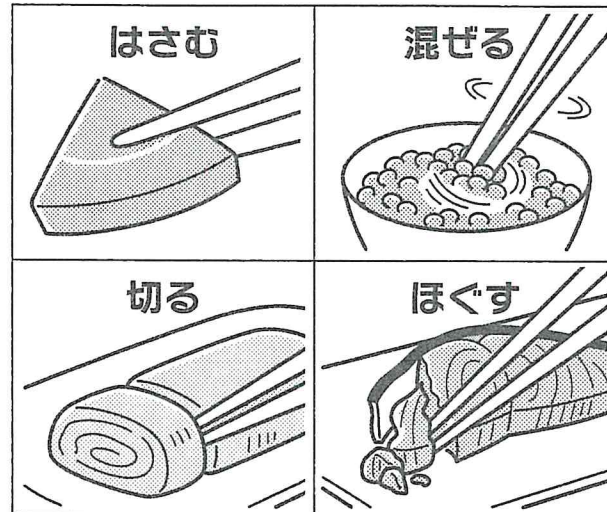


はしが正しく持てるようになったら、はしの使い方の練習もしましょう。

いろいろなことができる！

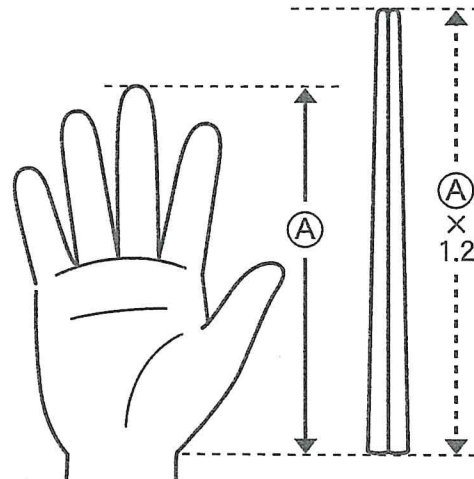
### 便利な はし

はしは、はさんだり、混ぜたり、切ったり、ほぐしたりするなど、多彩な機能を持っています。はしを使うことは、手そのものの器用さが増すだけでなく、脳の発達も促すともいわれています。はしを使ってさまざまな動作にチャレンジしてみましょう。



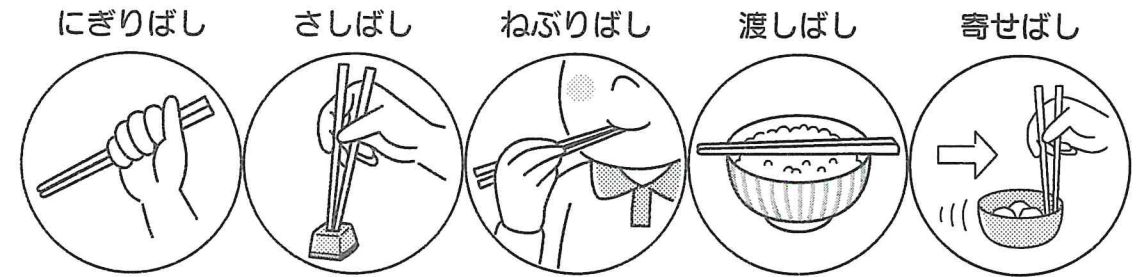
### チェック！手に合うはしを使っていますか？

使いやすいはしのポイントは、軽いこと、持ちやすい長さであること、はし先がすべらないことなどがあげられます。持ちやすい長さの基準としては、手首から中指の先までの長さを1.2倍にしたものが、適当といわれています。一度、確認してみることをおすすめします。



## 子どもたちに伝えたい！ やってはいけない きらいばし

食事の時に、やってはいけないはしづかいのことを「きらいばし」や「いみばし」といいます。料理をはしで突きさす「さしばし」や、はしをなめる「ねぶりばし」、はしで食器を引き寄せる「寄せばし」などがあります。子どものうちから、きらいばしをしないように、はしのマナーを身につけさせましょう。



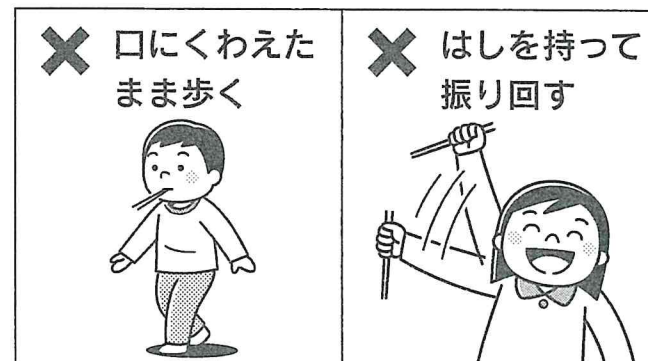
はしの豆知識

### どうして1ぜんと数えるの？

はしは、2本を一对として、1ぜん、2ぜんと数えます。なぜかという、おぜん（茶わんなどを置く台）には必ずはしがセットされるので、1つのおぜんに必要なはしのことを「1ぜん」と呼ぶようになったといわれているからです。



## はしの危険な扱い方に注意！



はしは、扱い方によっては危険をとまいません。口にくわえたまま歩いたり、はしを持って振り回したり、他人の目の前に突き出したりする行為は事故を引き起こしてしまうことがあります。はしの危険性について考慮して子どもを見守り、してはいけないことを教えましょう。